

(議長)

次に、町長からの行政報告の申し出がありますので、これを許可いたします。
町長。

「町長」 (行政報告)

はじめに、江差風力発電所の営業運転開始についてご報告申し上げます。

令和5年2月6日、電源開発株式会社の100%出資子会社であります、株式会社ジェイウインドが出資する江差グリーンエネルギー株式会社が元山地区において、江差風力発電所の営業運転を開始しました。

元山地区では、平成13年から株式会社江差ウィンドパワーが風力発電事業を行っていましたが、電源開発株式会社が事業を引継ぎ、風車の建て替えを進めてきたものです。総出力は建て替え前と同じ2万1千キロワットで、電源開発株式会社では、最大級となる出力4,200キロワットの大型風車5基を初めて稼働いたしました。町といたしましても、2050年カーボンニュートラル実現に向けた再生可能エネルギー導入の一步として、期待しているところでございます。

次に、江差町、上ノ国町、株式会社コンサドーレ及び一般社団法人コンサドーレ北海道スポーツクラブとの連携と協力に関する包括協定の締結について、ご報告申し上げます。

令和5年2月9日、北海道をホームタウンとするコンサドーレ札幌を運営する株式会社コンサドーレ及びスポーツ普及活動を行う一般社団法人コンサドーレ北海道スポーツクラブとスポーツ施設の相互利用など、自治体間連携を締結している上ノ国町との4者による連携協定を締結いたしました。本協定は、江差町及び上ノ国町のそれぞれのスポーツ施設を活かし、両町のスポーツ振興や町民の健康増進を図るほか、コンサドーレが持つノウハウを活かし、地域課題の解決や地域交流の活性化に寄与することを目的に締結したものでございます。

今後は、スポーツ関連事業のほか、教育や観光振興など様々な分野において、連携した事業を展開してまいりたいと考えているところであり、令和5年度予算において、町民を対象とした基礎トレーニング教室や食育講座を開催するため、事業予算を上程しているところでございますので、よろしくお願い申し上げます。

次に、災害時における協力協定締結について、ご報告申し上げます。

令和5年2月16日、北清えさし株式会社と大規模災害発生時における災害廃棄物処理等の協力に関する協定を締結いたしました。本協定は、災害時に発生する災害廃棄物を円滑迅速に処理するため、仮置場の運営管理、中間処理及び最終処分について同社にご協力をいただき、災害発生後の早期復旧を目指すものでございます。

また、地域防災計画の個別計画である災害廃棄物処理計画について、この協定の活用を盛り込んだ上で策定し、更なる防災行政の推進に努めて参ります。

次に、旧江差町営レストラン施設利活用事業公募型プロポーザルの結果につい

て、ご報告いたします。

去る2月10日に開催いたしました江差町議会全員協議会において、当該プロポーザルに対し、1事業者からの申込提案がありましたことをご報告させていただきました。提案事業に関しまして、2月17日に副町長及び関係課長で構成する審査委員会におきまして、事業提案者からプレゼンテーション審査を実施した結果、当該施設貸付に伴う優先交渉権者として、江差町字尾山町146番地28、株式会社クリエイト北海道 代表取締役 松谷朝日氏に決定いたしましたので、ご報告申し上げます。

なお、利活用の事業内容といたしましては、別紙で事業概要を添付しておりますが、地元産の食材を活用した軽食ができるカフェとお土産品の販売を主としつつ、体験イベントなどを通じて町民や観光客が交流し、また、憩いの場として有効利活用が図られる内容となっており、観光振興及び地域経済の活性化等を通して人々の交流を促進し、新たな賑わいが創出されることが期待されるものでございます。そのため当該施設貸付にあたり、光熱水費は事業者負担となりますが、再公募する際の江差町議会全員協議会でご説明させていただきましたとおり、本定例会議案として財産の減額貸付について、提案させていただいておりますので、よろしく申し上げます。

次に、江差町国民保護計画の変更について、ご報告申し上げます。

江差町国民保護計画は、武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律、いわゆる国民保護法第35条第1項の規定に基づき、国が定める国民の保護に関する基本指針や北海道が定める北海道国民保護計画を踏まえて策定しており、国の指針や道の計画に変更が生じた場合は、整合性を図る必要があることから、当町の国民保護計画を変更するものでございます。変更については、国民保護の定める手続きにより、江差町の国民保護協議会に諮問、北海道知事と協議をしましたが、いずれも異議がなかったことから、同法の規定に基づき議会への報告とさせていただきます。

変更概要につきましては、資料を添付させていただいておりますので、ご参照いただきたいと思います。

次に、新型コロナウイルスワクチン接種状況と今後の接種についてでございます。

オミクロン対応ワクチン接種でございますが、1月21日で集団接種を終了いたしました。3月6日現在の接種率は、全体で68.9%、65歳以上の高齢者は81.0%となっております。集団接種終了後も接種希望の問い合わせがあることから、町広報3月号のチラシでお知らせいたしました。3月18日（土）に集団接種の機会を設定いたしました。詳細につきましては、資料をご参照ください。

次に、令和5年度の接種についてでございます。

マスコミ報道等でご存知かと思いますが、特例臨時接種の期間が令和6年3月31日まで延長になりました。国の予防接種ワクチン分科会において、乳幼児小児の

ワクチン接種は、実施期間が短かったことから、接種が継続される予定であること。重症化リスクの高い65歳以上の高齢者及び基礎疾患を有する方、医療従事者や高齢者施設等の従事者を対象に、春夏頃に1回接種機会が設けられる予定であること。12歳以上のすべての方を対象に、秋冬頃に1回接種機会が設けられる予定であることが検討されました。

最終的な結論や使用するワクチンの種類や接種間隔等の詳細が国から示され次第、町広報等でお知らせいたします。

また、5年度の接種日程につきましても、今後、町内医療機関等との調整を行い、決定次第町広報等でお知らせいたします。

最後に、寄附採納についてご報告申し上げます。

はじめに令和5年2月20日、札幌市厚別区青葉町 津村善彦様より、江差町特に伏木戸町の防災に役立てて欲しいと防災キャビン、段ボールベッド、金額にして約20万円相当のご寄附がございました。津村氏は、町内伏木戸町出身で、北海道警察の警察官として当町でも勤務され、令和4年春の叙勲等で警察功労として瑞宝双光章を受章、この度の受章について、故郷江差町に感謝したいという趣旨から、ご寄附いただいたものでございます。ご寄附いただいた防災キャビンにつきましては、寄附の目的にもあったとおり伏木戸町の防災に役立てたいと考えております。

最後に、令和5年2月24日、札幌市に事務所を置く生活協同組合 コープさっぽろ 理事長 大見英明様より、新入学児童の交通安全への願いを込めて、交通安全ランドセルカバー50枚のご寄附がございました。同組合の地域貢献活動は、平成24年度から継続されており、交通安全推進の一翼を担っているところであります。ご寄附いただいたランドセルカバーは、小学校入学式当日に配布を予定しております。

以上、ご寄附がございましたことをご報告申し上げますとともに、改めてご厚志に厚くお礼を申し上げます。

(議長)

以上で、行政報告を終わります。